……七月の養豚……

いよいよ豚には大敵の夏がやって来ました。雨が降って涼しいと思っていても、雨上りには急に暑くなってたちまち豚は熱射病にやられてしまいます。手まめに豚舎をのぞいて豚の状態を観察しましょう。

着眼点

一、梅雨あけの蒸熱は豚には一番苦手。舎内の乾燥と通風をはかること。

二、日よけの設置。カボチャ、ヘチマを利用する場合は通風に注意すること。

三、朝餌はなるべく早く、暑くならないうちに。食欲を落さぬように注意。

四、妊娠豚以外は敷ワラをとり去り、豚舎は常に水洗いする。

五、蚊やハエの予防につとめる。

六、エサ箱は清潔に、残りエサを出さぬよう。

七、ホリドール、パラチオン剤などの農薬中毒に注意。

今月は春仔の育成時期ですし、また繁殖豚は秋仔をはらんでいるので大切な時期ですが、豚にとっては、はなはだしのぎにくい時期のので、管理にあたってはできるだけ慎重を期さなくてはなりません。

豚が暑さに弱いということは、ほかの動物と比べて、体内とくに皮下織、内臓などにいちじるしく脂肪をたくわえていますこのため暑さもひとしおこたえることは容易に想像されます。次に皮膚はほかの動物に比べて厚く、丈夫で汗腺は退化して全く汗を出すことができず、したがって体温の調節は口と鼻での呼吸による以外はできません。

1、エサの与え方

朝は暑くならぬうちに、なるべく早く、涼しいうちにエサを食べさせます。前日の残りエサ、残り水を捨てて、エサ箱をきれいに洗ってから与えます。エサはかた練りとして、毎回一〇分くらいで食べつくす量とし、食べ終ったらきれいな水をエサ箱に満して自由に飲めるようにします。

2、日よけの設備

豚舎は思いきって開放しして、まず通風をはかることが先決ですが、豚舎の屋根が低かったり、トタンぶきであったり、豚舎の奥行が少ない場合には、真夏の輻射熱で暑さはひとし加わるものですから適宜防暑設備が必要です。トタン屋根などは屋上に竹や丸太を渡してヨシズをのせるなり、また古俵やムシロをのせ、あるいはカボチャなどをはわせます。

3、舎内の掃除、蠅や蚊の防除

舎内の敷ワラは全部とり除き、毎日床を水で洗い流せば理想的ですが、汚水処理等で問題も多くあるので、少量のワラを短かく切って寝る場所だけに敷いて、汚れた部分を毎日取除いて、豚がいつも乾いたワラの上にいるようにします。

手近かなところに噴霧器をおいて、手まめにDDTやBHC油剤などをまいて蠅や蚊を殺します。

蠅がさした傷口には木タールをぬってやります。

4、農薬に注意

豚の成育には青草は大切な要素ですが、田圃はホリドール、パラチオンその他農薬を多く散布するので、青草を刈るときは十分注意して、豚が農薬中毒をおこさぬように十分注意しましょう。

滞納税金にかかる納税相談について

納税者各位の絶大なる御協力によりまして、逐年納税成績も向上しておりますが未だ完納されない者が若干ありますので税金納税の不均衡を是正するため七月を滞納一掃月間と定め、一日より十日まで未納者に対し納税相談に応じますから役場税務係まで相談にお出下さい。

税法改正により日歩四銭の延滞金が加算され、本税に優先して徴収されますので日々未納税額が増加することになります。

特別な事情のない限り徴収の原則として期間中に納税相談あるいは完納なき場合は止むを得ず財産差押え、物件の引上げ競売の強制執行をする予定であります。未納者は期間中に必ず完納して下さい。

夏と水と子供たち

★水の恋しい季節、もうすぐ水泳シーズンがやってくる。海岸や小川のほとりで嬉々として無心に遊びたわむれている子供達の姿を見て、アア夏がやってきたと一幅の風物詩として見過ごし、通り過ぎていく人々、そこに何か問題があるような気がします。

★事故を起すのは、自分の子に限って絶対に無いと信じたい親選である。それが危い。心の目をはなしているのではないか、尊い人命を守るために保護者、指導者、監督者は子供からは目をはなさないで下さい。

★家族連れでリクレーションにやってきて、たった一人の子を失って嘆き悲しんでいるお母さん、狂気のように水の中を我が子の姿を探し求めているお父さん。岸辺から五米くらいのところの深みで、このような事故が年々発生しています。これもホンノちょっと目を離したばっかりに生ずる事故です。重ねてお願いします。**絶対に目を離すな**このことをしっかり守ってくれるなら、水死事故の大半は防げるといわれています。

成果を上げた新潟国体

いつまでも残そう健民運動四つの柱

6月6日から11日まで、県下各地に繰り広げられた国体絵巻。二五〇万県民が一致して、心をこめ、力を合わせて盛り上げた新潟国体は、立派な成果を収めて終りました。

大会そのものの成功は、もちろん立派なことでありましたが、あわせて展開された健民運動も大きな力を示しました。

特に食中毒・赤痢予防、きれいな町づくりに、最後まで万全の措置を講じていただきましたことが、大きな推進力となりました。

組織あげて御協力下さった各団体、組合、学校はじめ団体推進委員並びに村民のみなさまに深く感謝し、みなさま共々お喜び申上げます。

6月の前半は国体で湧き立ち、後半は全く思いもかけず悪夢のような新潟地震におそわれました。はなばなしい国体の姿は、一瞬のうちに打ち砕かれてしまいました。形あるものは、無ざんな被害を受けましたが、心の中に打立てられた「**清潔・健康・親切・安全**」の四つの柱は、ビクともしなかったものと信じます。

新潟国体の成果が、ほんものになるか、ならないかはこれからの問題です。

清潔、健康、親切、安全の四つの柱が、私たちの生活の中に、しっかりと根をおろすとき、はじめてこの運動の目的が達せられることになります。

◎町や村をきれいにしましょう。

◎スポーツを積極的に実践し、健康増進につとめましょう。

◎人には、まごころをこめて親切にしましょう。

◎交通道徳を守り、事故をなくしましょう。

このことを、みんなで長く実践して行こうではありませんか。

（岩室村国体推進委員会事務局）

役場に雑布贈る

去る六月八日に、和納七区の佐藤トシさん（58才）から三十四枚の雑布が役場に贈られました。佐藤さんが和納に住んで三十四年間、色々世話になった御礼にとの事。仕事や孫のおもりと貴重な時間をさいて作って下さった御心に対し感謝の意を表します。

ラジオ農業学校

七月中の集合研修会が次の通り開かれる。

二　日　岩室中学校
調理実習と稲の病虫害について。

九　日　岩室中学校
ホームプロジェクトの研修と飼料作物の栽培について。

十六日　岩室中学校
広い場で農業を考えよう
水田裏作と土壌について

二十七日　巻農校
野菜の作り方と我が家の食生活の実態について。

午後はキャンプの打合せを行なう。

商業統計調査

七月一日から商業統計調査が行なわれます。商店の方はご協力下さい。

あとがき

○国体にわき災害に暮れた六月。七月上中旬は本格的な梅雨時となりそうです。お互いに健康に留意いたしましょう。（福田）

◎二百字程度の投書欄を設けたいと思います。誌上のとく名は自由ですが、投稿には住所氏名を明記の上、役場又は公民館宛お送り下さい。（氏名のないものは取扱いいたしません）